



展示室開室スケジュール

●令和5年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧いただけます。

3F	12月	1月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第4期	～1月8日(月・祝) 1月19日(金)～第5期～2月19日(月)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	12月8日(金)～	第4期 ～2月5日(月)
特別展示室 企画展	高知城 ～未来へ伝えたい地域の宝～ ～12月10日(日)～	福をよぶ 城博コレクション ～わきたつめでたきもの～ 1月1日(月・祝)～ ～3月4日(月)

年末休館 12月26日(火)～31日(日)

城博講座(12月～1月)

12月 9日(土) 歴史講座
「歴史の中の高知城」
第3回 高知城での暮らしと儀礼
講師／横山和弘(当館歴史担当学芸員)

16日(土) 日本の文化講座
「城郭～普請と作事」
第3回 縄張
講師／横山和弘(当館歴史担当学芸員)

1月 20日(土) 歴史資料保存修習会
「お家に伝わる美術品の
取り扱い方と保存方法」
講師／田井東浩平(当館保存担当学芸員)

会場／当館1階ホール
時間／10:00～11:30
定員／60名 参加費／無料
申込み／不要(当日先着順)



お正月特別イベント 博物館に初もうで



獅子舞がお正月のジョー・ハクに登場! 土佐風づくりや武士の装い体験も。
新しい年のはじまりは、みんなでジョー・ハクへ!

開催日 令和6年1月1日(月・祝)～3日(水)
会場 高知城歴史博物館
北ステージ、ホール、実習室

日程によってイベント内容が異なります。詳細はホームページかチラシをご確認いただくか、当館までお問い合わせください。



季節の催し お正月の会

新春を寿ぐ邦楽の演奏とお呈茶をお楽しみください。

開催日 令和6年1月8日(月・祝)
時間 【演奏会】13時～14時30分
【呈茶】14時30分～16時 ※お好きなお時間におこしください
演奏 菊由瀬会和都山流尺八のみなさん
会場 高知城歴史博物館 1階ホール・和室
参加費 500円(お呈茶もご希望の場合800円)
定員 30名(要事前申込)

●申し込み方法
電話・ハガキ・FAXのいずれかで、
住所・氏名・電話番号を当館まで
お知らせください。

●申込締切／12月22日(金)
申込多数の場合は、
抽選となります



お得な年間観覧券が オススメです

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヶ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

年間観覧券／2,000円
※有効期限は購入日から1年間

各種会員制度も ご利用ください

友の会 年間観覧券と様々な特典がついた会員制度です。

年間 3,500円

情報会員 城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送りします。

年間 500円

友の会、情報会員の
詳細はこちら



開館時間 9:00～18:00(日曜日は8:00～18:00) ※展示室への入室は閉館30分前まで

休館日 年末(12月26日～31日) ※展示室の開室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料 ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金
◆企画展開催期間中・・・700円
◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです
(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円
◆高校生以下は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

交通アクセス ◆お車 高知自動車道高知ICから約15分、一般来館者用の駐車場はございません。
高知公園(高知城)駐車場など周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり
◆JR JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)
はりまや橋下車にて乗り換え、高知城前下車、徒歩2分
◆飛行機 高知龍馬空港から空港連絡バスにてはりまや橋下車、徒歩約20分



高知県立
高知城歴史博物館

〒780-0842 高知市追手筋2-7-5
TEL.088-871-1600
FAX.088-871-1619

高知城博 検索



発行日／令和5年(2023)11月24日 編集・発行／高知県立高知城歴史博物館 印刷／共和印刷株式会社

高知県立 高知城歴史博物館 情報誌

Volume 23 2023 冬

城博ニュース



高知城のふもとで 日本文化を体験

お呈茶

着付け体験

館内ガイド



SGGの皆さん

通訳ボランティアの皆さんとの連携

今年度、60隻を超える外国クルーズ船が寄港する高知は、市内を中心に度々多くの外国人観光客にぎわいを見せています。

令和5年11月12日(日)、当館は初めて、クルーズ船の外国人観光客を対象としたイベントを開催しました。この企画は、日ごろから当館のPR等にご協力いただいている高知SGG善意通訳クラブの皆さんとの連携企画として実現しました。今回は初めての試みとして、通訳ボランティアの方々による館内ガイド、お呈茶、着付け体験を行いました。高知城のふもと、博物館で日本の文化体験に参加された皆さんは「素晴らしい思い出ができた」などと大変喜ばれている様子でした。

当館の使命の一つである「歴史や文化による地域振興・観光振興への寄与」には地域の方たちとの連携が欠かせません。今後、イベントやサービス等といった企画や運営面においても各分野の方々との連携を深め、引き続き、より充実した博物館活動を目指していきます。

年末年始の
お知らせ

年末休館 12月26日(火)～31日(日)

新年は1月1日(月・祝)より企画展「福をよぶ 城博コレクション」開幕とともに開館いたします。
また正月三が日は「博物館に初もうで」を開催いたします。(詳細は裏面をご覧ください)

城博

コレクシオン

福

わきたつめてたきもの

令和6年/2024年

1.1^月-3.4^月

年のはじめは福いっぱいの城博へ！

みどころ

重要文化財の刀剣4振を特別公開！

土佐藩主山内家にゆかりのある重要文化財の刀剣4振を特別公開します。

重要文化財 太刀 号 一国兼光

重要文化財 太刀 号 今村兼光

重要文化財 太刀 銘 国時 (掛川神社蔵)

重要文化財 太刀 銘 康光 (掛川神社蔵)

みどころ

福に満ちた資料の数々

鶴亀や三福神など、おめでたい図柄の資料のほか、辰年にちなんで龍をモチーフにした美術工芸品を展示します。

「猿南天文時絵枕」より

豊楽焼水指

みどころ

特集展示「土佐藩のお正月」

藩祖山内一豊以来、250年以上にわたって続けられた土佐藩ならではの正月行事をご紹介します。

「浦戸湾風景絵巻」(部分)

黒糸威七十六間小星兜

初代山内一豊所用 紙衣

関連行事

①「あなたのお気に入り刀大選挙」開催！
展示する重要文化財の太刀4振の特徴をキャラクター化しました。展示会場と当館特設HPで、人気投票を開催します。

イッコク (一国兼光) イムムラ (今村兼光) クニトキ (国時) ヤスミツ (康光)

②「刀カード」「もうのめませんカード」「猿カード」プレゼント
※1 各カード在庫限りの配布です。
※2 「刀カード」は4種の内1種を配布します。

もうのめません 猿

③学芸員によるスライドレクチャー
第1回:1月7日
第2回:2月11日
第3回:3月3日
会場:当館3階土佐探索室
時間:10時30分から30分程度
参加費:無料(要観覧券/申込不要)

いずれも日曜日

総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

総合展示室 第4期 10月20日(金)~1月8日(月・祝)

ピックアップ 東覚左衛門披露状 (徳川家康病状報告)

土佐藩の歴史
大河ドラマ「どうする家康」も最終盤です。徳川家康の亡くなる前月の病状を記した報告書を展示します。駿府城で床につく家康が、やり残したことはないと言いつつ、子ども達(後の御三家)のことだけが心残りだと話したと記されています。

大名道具と土佐の文化
国宝・高野切を特別公開します(1/1(月・祝)~1/14(日)以外は複製展示)。「かなの書の最高峰」と評される山内家の至宝をぜひこの機会にご覧ください。

総合展示室 第4期 12月8日(金)~2月5日(月)

ピックアップ 国宝 古今和歌集巻第二十 (高野切本)

副館長兼教育普及課長 横山和弘

城博コレクションの名品逸品

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主の御道具など6万7千点の土佐藩主山内家資料を核とした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から学芸員がオススめの名品や隠れた逸品をご紹介します。

紙衣

かみこ

初代藩主山内一豊の所用と伝わる紙衣。紙衣とは、厚く漉き上げた楮の和紙を手でよく揉み込んでやわらげ、反物のように仕立てる衣服のことです。
ところで皆さんは、元旦に土佐藩主が紙衣を着用していたと聞いたらどのような感想を抱くでしょうか。一国一城の主が年始に身につける衣服にしてはともかく貧相だと思われるかもしれません。
しかし、一豊が生きた安土桃山時代の紙衣は、庶民的な衣服ではなかったのです。豊臣秀吉など名だたる武将たちが金銀の刺繍を施した豪華絢爛な紙衣を好んで着用していました。実際、一豊の紙衣の襟部分には、当時外国からの輸入に頼っていた貴重な木綿が使用されており、決して貧相な衣服ではないことが分かります。

土佐藩では元旦の年頭儀礼の場において、藩主のみならず家臣一同が紙衣を着用することが慣習となっていました。この慣習は一豊が近江国長浜城主であった頃に由緒があるとされています。一豊の生涯と武功をまとめた「御家伝記」には「一豊が長浜城主となった翌年の天正十四年(一五八六)元旦に、一豊ほか家臣全員が紙衣を着用して年頭儀礼に臨んだことが記されています。この年以降、年始の嘉例(縁起のよい習わし)として、明治四年(一八七二)正月に紙衣の着用が廃止されるまで、連綿と続けられました。

正月からはじまる企画展「福をよぶ城博コレクション」の特集展示「土佐藩のお正月」では、紙衣を着用して行われた年頭儀礼のほか、高知城下を騎馬武者が疾走する「駈初」や一豊の土佐入国時に起源をもつ「船乗初」など、土佐藩ならではの正月行事をご紹介しますのでぜひご覧ください。

資料学芸課 水松啓太

活動レポート

高知城を再発見！企画展関連行事の開催

現在、当館では、高知城の公園化150年を記念して企画展「高知城～未来へ伝えたい地域の宝」を開催しています。高知城の魅力をより多くの方にお伝えしたいと思い、またよくご存じの方には新たな発見や驚きが生まれることを期待して企画展を開催しています。そのような趣旨のもと、企画展にあわせて様々な関連行事も実施していますが、ここでは10月に開催した二つの行事についてご紹介、ご報告したいと思います。
一つ目は、10月1日に実施した「追手門・詰門の特別見学会」です。高知県の歴史文化財課のご協力のもと、普段は見学することのできない二つの門の内部を特別に見学させていただきました。追手門の2階では、隠し銃眼や石落の仕組み、突き上げ戸の開閉方法や格子窓の様子、さらには矢狭間・鉄砲狭間の大きさや形など、主に追手門の防御機能に関わる仕組みについて、体験的に理解を深めました。普段は見学できない場所ということもあり、参加者の皆さんは大変熱心にご見学されていました。
二つ目は、10月28日に実施した「記念講演会」です。城郭研究で著名な三浦正幸氏(広島大学名誉教授)に講師を依頼し、「高知城の天守・御殿と櫓・城門」という題目でご講演をいただきました。高知城の縄張、御殿の配置、詰門・黒鉄門、そして天守の建築的特徴など、全国各地の城郭建築に関する知見を背景に、高知城の特徴や文化財的価値等についてご講演いただきました。とりわけ、豊臣・徳川両政権との関係や全国でも高知城にのみ現存する遺構の紹介など、興味深いご講演となりました。参加者の皆さんも大いに刺激を受けたようで、講演後にはたくさんの質問やご感想をいただきました。
地域を代表する歴史文化遺産、高知城。今後も高知城の魅力を様々な形でご紹介していきたいと考えております。

副館長兼教育普及課長 横山和弘

地域イベント等への参加・協力状況

当館では地域の文化行事等への協力および当館のPRを目的に、地域で開催される様々なイベント等に協力しています。今秋は下記の行事に参加しました。

まんさい 11月4日(土)・5日(日)
■主催:高知市、こうちまんがフェスティバル実行委員会
当館キャラクターのやまびょうが会場に登場し、博物館をPRしました。

龍馬生誕祭 11月15日(水)
■主催:高知市中心街再開発協議会
高知市中央公園の会場にて、兜や刀の体験コーナーのブースを行いました。

お城下文化の日 11月19日(日)
■主催:お城下ネット(正式名:高知お城下文化施設の会)
高知市中心商店街(帯屋町アーケード)にてワークショップ(和綴じメモ帳づくりと折り紙で兎耳兜づくり)、また館内では変わり兜や刀の体験コーナーを行いました。

予定
高知まちゼミ 11月26日(日)・12月3日(日)
■主催:高知まちゼミ実行委員会・高知商工会議所 高知TMO事業
塩杜氏銀蔵氏を講師に招いて、完全天日塩のバスソルトづくりを行います。(詳しくは高知商工会議所のホームページをご覧ください)